

非正規職と貧困の社会を変えよう！ ストライキと国際連帯で戦争とめよう！

2016 国際婦人デーみやぎ行動



2016年 3月6日(日)

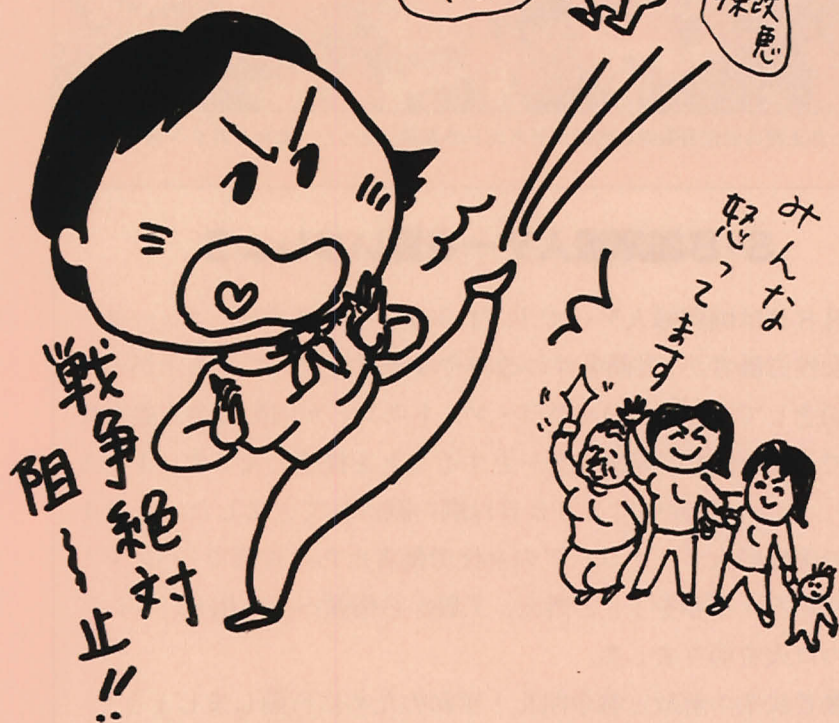
- ① 正午～1時 街頭宣伝 (リレートーク) 広瀬通り一番町 フォーラス前
- ② 2時30分～5時 集会 エル・ソーラ仙台 大研修室 (アエル28階)

参加費 500円 (託児あり)

職場から、地域から、声を上げよう！ 団結して改憲・戦争とめよう！

お話 **藤井千賀子さん**(ふくしま合同労組 書記長)

命にかかわる福祉労働の現場なのに、いつのまにか非正規職が大半とされ、低賃金、人手不足であいつく同僚の病休、退職。若い人が働き続けられる職場にしたいと昨春、労働組合を結成しました。また、被曝労働拒否、JRの外注化反対で闘う動労福島とともにストライキで戦争を止める労働運動を目指して奮闘されています。



連絡先 3・8 国際婦人デー企画実行委員会 谷 (080-1805-0889)

「命よりカネ」の社会をかえましょう！

貧困が、女性とりわけシングルマザー、子ども、高齢者に拡大しています。若者には奨学金という借金が重くのしかかっています。虐待、介護殺人、親子心中・・・痛ましいニュースが続き、社会の崩壊を感じます。職場では、セクハラ、パワハラ、マタハラ・・・差別と分断、首切り、低賃金、長時間労働で身も心もボロボロ。そんな非正規労働者は4割を超え社会の土台です。一方1%の富裕層には富が集中しています。こんなに忙しく働いても生きていけない社会はおかしいです。

安倍政権は、日米韓で朝鮮半島への戦争を準備しています。憲法9条改正を叫んでいます。「残業代ゼロ」「解雇の金銭解決」法案は、労働者派遣法改悪に次いで、労働者の総非正規職化を進め、貧困と戦争を拡大するものです。

ストライキでたたかう動労千葉をはじめとした動労総連合、韓国・民主労総のように、労働組合の団結とストライキ、国際連帯で戦争を止め、命よりカネの社会を根底から変えましょう。

イオンで働く女性労働者の声（30代Aさん）

私はパートとして働いています。毎年、この時期になると決算のために従業員販売をします。これは社員は2万円以上、その他の従業員は3千円以上を買うようにとされています。低賃金で働いている私たちにはとても厳しいし、まして、従業員で売り上げを取るという会社のやり方は本当に汚いと思います。従業員を低賃金で働かせるだけでは済まず、物を買わせてお金を会社に回して循環させているのです。絶対に許せない！

会社には労働組合が存在しますが、こういう状況があるにも関わらず見てみぬふりです。労働者を守らず、会社を守る労働組合ならあってもなんの意味もないどころか逆に労働者にもものを言わせないためのしがらみでしかありません。

私たち非正規は簡単に必要でなくなったらアツと言う間に捨てられてしまいます。社員と非正規の労働条件による差別も大きいです。

安倍政権の安全保障関連法が3月に執行されるにあたって南スーダンに陸上自衛隊が、「駆けつけ警護」など新たな任務が加えられようとしています。このことが加えられたら、本格的な戦争になります。

私たち労働者が居てこそ、国も社会も成り立っているのです。労働者のみなさん、私たちと一緒に声をあげましょう！本当に労働者の生活をまもるために闘う労働組合と一緒にやりましょう！

「戦争は38度線（北朝鮮国境）ではなく
職場で起こっている」と、パククネ打倒を
かかげてゼネストを続ける韓国・民主労総



<写真>非正規の女性労働者の労組がゼネストの先頭に立った（昨年6月27日・ソウル）

3・8国際婦人デーを闘いましょう

3月8日は国際婦人デーです。1908年3月8日、ニューヨークの女性労働者が、労働条件の改善や参政権を求めて起ち上がった日を記念して、ドイツのクララ・ツェトキンらが国際社会主義女性会議で、この日を国際婦人デーとすることを提唱しました（1910年）。以来、世界中で3月8日は闘い継がれてきました。1917年の国際婦人デーにロシアの女性労働者たちは首都で「パンを！戦争やめろ！平和を！」と訴え、工場から街頭へくり出し、ロシア革命の口火を切りました。

労働者民衆の解放と戦争阻止・平和のために行動しましょう！